

- ✓ 設置例・施工例写真大募集!
- ✓ H.C.R.2026出展します!
- ✓ 作業療法士からみた生活改善
- ✓ 韓ドラ処方箋

好評企画
第9弾!

福祉用具手すり

設置例

一般新築・リフォーム
介護保険住宅改修

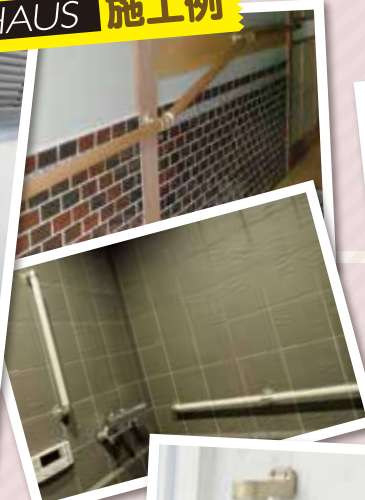
施工例

写真大募集

マツ六の商品を使用した設置例・施工例写真はございませんか?
大規模リフォームはもちろん、手すり1本だけでも大歓迎!
ぜひ、あなたの自慢の現場を披露してください!

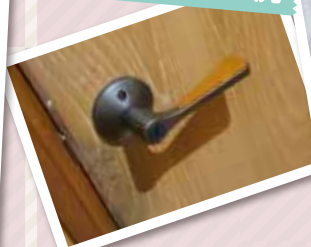


BAUHAUS 施工例



たよレール 設置例

建具リフォーム例



After

お絵かき手すり製作例

※組立てまでのお写真でOK



応募
特典
あり!

特典の内容や詳しい募集要項、ご応募はコチラから

<https://event.mazroc.com/bosyu/photo>

Check!



キャンペーン実施中!

12月31日(木)まで



第53回 国際福祉機器展&フォーラム

H.C.R.2026 出展します!

10月7日(水)~9日(金)まで 10:00~17:00
(最終日は16:00まで)

Web展も開催中! ~11月13日(金)まで
H.C.R.2026Webサイト 特設サイト内

東京ビッグサイト

東展示 小間 東3ホール 3-19-10
ホール 番号

皆様のご来場を
お待ちしております

対象者の生活パターンを知ること
住宅改修の効果は上がる！

住宅改修が高齢者の在宅生活を継続させる要因となっていることは、先行研究でも報告されています。しかし、介護保険による支給上限額は20万円となっているため、不足分は他の制度や自己負担を組み合わせながら改修を行っているのが現状です。

いわき市の「高齢者等住宅リフォーム事業」の報告によると、浴室・便所・洗面所といった水回りの改修が多くを占めています。利用者の要介護度は、要支援1が5%、要支援2が15%、要介護1が18%、要介護2が22%となっており、要介護2までで全体の60%を占めています。要支援1から要介護2までは「浴室」の改修が最多で、要支援1から要介護1までは「洗面所」、次いで「便所」の順でした。なお、要介護2になると「便所」が「洗面所」を上回ります。

さらに、同事業を利用した世帯の課税状況を見ると、生計中心者が「生活保護受給」7%、「市民税非課税」39%、「市民税均等割りのみ課税」10%となっており、約半数を低所得世帯が占めていることがわかります。

これらを踏まえると、いかに限られた条件の中で効率的な住宅改修を行っていくかが強く求められていると言えます。

要介護1までの高齢者において、浴室に次いで洗面所の改修が多い点は、身だしなみを整えて外出するなどの社会生活につながっているからだと推測されます。社会との接点を持つことこそが、在宅生活の継続につながるのではないのでしょうか。

理学療法士を対象とした調査では、住宅改修の際に対象者の行動パターンや長期的な移動予後、必要な生活動作(ADL・IADL)、ご家族の受入状況、要介護度の確認といった情報を事前に収集する必要性が指摘されています。このことから、生活状況をしっかり把握した上での改修が求められます。以前、私が住宅改修の実施状況を確認していた際、実際の生活遂行状況を把握できていなかった改修や、ご本人の言葉のみで判断した改修では、後

から追加工事や修正が発生していました。これらは施工業者だけでは判断や対応が難しいことも多いため、日頃から継続して関わっているケアマネジャーや支援職種の意見を聞き、しっかりと改修内容を検討することこそが、住宅改修の効果을あげる一番の方法であると感じています(図1)。



図1)住宅改修の効果을あげる方法

参考文献

- 1) 山田雅奈恵, 田村一美, 寺西敬子, 新穀真理子, 下田裕子他: 住宅改修が要介護認定者の在宅継続期間へ及ぼす影響, 厚生労働省, 54(11), pp.38-43, 2007
- 2) 熊田伸子, 山形敬明, 高橋真里: 要介護高齢者の在宅生活継続要因に関する研究(その3)-いわき市の高齢者等住宅リフォーム事業における改修実態について-, 郡山女子大学紀要, 59, pp.19-32, 2023
- 3) 宮崎直人, 安彦鉄平, 初瀬川弘樹, 深田光穂: 家屋調査実施前に収集すべき重要評価項目の検討, ヘルスプロモーション理学療法研究, 14(3), pp.145-150, 2025



韓ドラ処方箋

～あなたのココロの栄養剤、選定します～

第2回

仕事でカサついた心の「高保湿」ローション

処方箋

わたしの完璧な秘書



仕事一筋で不器用な敏腕女性CEOと、家事も育児もこなす完璧なシングルファザー秘書。常に気を張る彼女の心が、彼の細やかな気配りで少しずつ解きほぐされていく。真逆の二人が互いを補い合う、心潤うヒーリングストーリー。

・癒し
・元氣

一言アドバイス

常に完璧を求められるビジネスパーソンにこそ、このドラマが持つ「日常の小さな温もり」が必要です。誰かに頼ること、お互いを思いやったりする心地よさが、カサついた心にじわっと浸透していく極上の癒やし体験。明日からの活力を養うための、上質な休息時間をお楽しみください。



症状:こんな時にお使いください。



- 毎日仕事に追われ、オフの時間もついつい業務メールを確認してしまう。
- ふと気づけば無理ばかり。誰かに優しく『お疲れ様』って言われたい。
- 刺激的な展開のドラマより、心温まる穏やかな物語で癒やされたい。

副作用に注意!

「職場にあんな完璧な秘書はいないのか…」と、現実逃避してしまう恐れがあります。

おだいじに・・・

